

和2年3月28日（土）に、文京キャンパスにおいて、令和元年度定時評議員会が開催され、「令和2年度学校法人拓殖大学事業計画・予算案」が審議され、原案通り承認されました。

和2年度の事業計画及び予算の概要は、次のとおりです。

I. 事業計画

◆令和2年度事業計画策定について

はじめに

創立120周年（2020年）に向けて本学の向かうべき大学教育全体の将来像として「拓殖大学教育ルネサンス2020—グランドデザイン—」を策定し、教職員一丸となって教育改革を推進しているところですが、これをより一層推進するため、また、18歳以下の人口減少が加速し大学を取り巻く環境はますます厳しい状況にある中で、予算編成に当たっては費用対効果の妥当性・適切性、既存事業の見直しなど多岐にわたり検証しました。

予算編成における取り組みとして、継続事業（経常的支出）については、節減の姿勢を堅持し当年度予算額（令和元年度）のゼロシーリングを原則としています。なお、引き続き八王子国際キャンパスの活性化と施設の整備充実、学生募集対応、就職支援対応等についても優先的に実行することとしており、具体的な事業内容は、後述の「令和2年度事業概要」に示すとおりです。

令和2年度事業方針について（理事長）

1. 法人運営の基本方針

(1) 時代認識

本学は、明くる年、令和2年（2020年）に創立120周年を迎えます。半世紀ぶりに開催される東京オリンピック・パラリンピックが開催される年でもあります。これまで創立120周年に向けて「教育ルネサンス2020」を掲げ、教育改革を進めて参りましたが、更に10年先を見据え、本学が一体となった教育改革を実現し、積極進取の気概を持ちグローバルに行動できる「拓殖人材」の育成を目指していかなければなりません。他方、国際社会は経済などのグローバル化において、協調的傾向から自国主義的な対立の傾向が広がりつつあり、世界の平和と安全に不安を与えております。

一方、国内に目を転ずれば、少子高齢化社会の中で活力ある経済や企業活動、グローバル化への対応、国連が提唱した持続可能な開発目標SDGs（Sustainable Development Goals）への取り組みやSociety 5.0（第5期科学技術基本計画）で実現する社会としてのAI（Artificial Intelligence:人工知能）・IoT（Internet of Things:モノのインターネット）等の第4次産業革命による急激な変化への対応、地域社会の振興など、わが国の将来に係わる喫緊の重要課題が山積しております。

また、大学を取り巻く環境、なかんずく18歳人口の減少基調は、中央教育審議会（平成30年11月26日）による「2040年に向けた高等教育のグランドデザイン（答申）」において、2040年の将来予測が公表され、国内の18歳人口は2017年の120万人から、2030年には105万人、2035年には100万人を割って98万人、2040年には88万人へと減少し、また、大学進学者数についても現在の約80%の51万人となる見通しであります。この様な状況下で、2019年度以降の私立大学における入学定員管理の厳格化と私学助成における新たなルールは教育の質向上に寄与する反面、財政面への影響が懸念され、これまで経験したことのない厳しい時代を歩んで行かねばなりません。

(2) 大学の社会的責任と本学の使命

わが国は、今日いわゆる「少子高齢化社会」に伴う諸問題を抱えるなか、加速するグローバル化や高度情報化社会への対応が遅れていると言われております。明治維新（1868年）以来、アジアの国々に先駆け西洋先進国に学び、今日の「近代社会」を構築してきた歴史があり、そして、その担い手となった人材を養成してきたのが、高等教育機関としての「大学」であります。今日、日本の大学はこの歴史に学び、そのポテンシャルを發揮して、わが国の抱える諸問題の解決に積極的に取り組み、明るい未来社会構築の担い手となる公共心に富んだ人材を育成する

社会的責任を課せられております。このような時代にあつて、本学は1900年(明治33年)に台湾協会学校として創立されて以来、これまで海外で活躍できる人材、現地の人々と共に汗を流し、地域の福祉と発展に貢献できる有為な人材を輩出してきました。本学関係者はその今日的価値と使命を再確認し、国の内外を問わず社会が抱えている諸課題に対し積極的に挑戦し、社会の発展や福祉の向上に貢献出来る有為な人材、すなわち「拓殖人材」を育成するため、その具体的教育事業の展開を図って行かなければなりません。

(3) 本執行部の取り組むべき課題

本執行部は、これまで文京キャンパスの再開発整備事業を2016年3月末に完成し、以来今日まで「教育ルネサンス2020」を中心に教学と経営の改革に取り組み、その成果としてグローバル化を見据えた「外国語学部国際日本語学科」を来年4月に開設することとなりました。今般、文部科学省は、外部評価を厳格化する「学校教育法等の一部を改正する法律」と「私立学校法の一部改正」が同時に公布され、私立大学における教育の質の向上を図るため中期計画の策定義務化や役員の責任の明確化によるガバナンスが強化されることとなりました。

また、各学校法人の施策の詳細部分については、私立大学の関係団体等が「私立大学版ガバナンス・コード」を行動規範として策定し、私立大学の主体性を重んじ自律的なガバナンスの確保が求められています。更に、「大学等における修学支援(高等教育の無償化)」に関する法律が制定され、これらの法律は令和2年4月施行されることとなります。既に進行している文部科学省による入学者数の抑制政策により、私立大学等経常費補助金の取り扱いにおいては定員管理の厳格化が求められ、加えて学部・学科の設置及び収容定員増は、「東京都特別区(23区)には原則として認めない」との法律が制定され2028年3月末までの10年間は定員増を認めないこととなっています。これらのことは大学淘汰を視野に入れたものであり、大学をはじめとする法人全体の存続発展に係わる重要な経営課題であります。本年6月15日に開催された臨時評議員会・理事会において承認され、3期目を迎えた私達執行部は、これらの時代的環境と大学に課せられた社会的使命の認識に立って、来るべき2030年に向けて時代の要請に応えるべく「教育の質の向上」のための「教学組織の改革」と、これを推進するための、更なる「財政基盤強化のための改革」を図って行かなければなりません。そして何よりも法人そのものの存在基盤を強化するための「学園共同体」としての学生・教職員に加えて評議員並びに卒業生との連携強化を図り、本学の明るい未来を構築して行かなければなりません。

2. 令和2年度予算編成にあたって

(1) 基本的考え方

- ① 本法人の現在保有している限られた資産(人的財産・歴史的財産・土地・建物)を最大限に有効活用して、各設置校の発展を図るために、全ての事業について費用対効果を原則とする。
- ② 予算編成にあたっては、文部科学省による入学者数の抑制強化や、消費税増税による影響等を充分勘案し今後一層、財政基盤の充実・安定を図るべく事業計画を策定することとする。特に大学においては18歳人口の減少を踏まえ、物件費及び人件費の抑制に努めること。
- ③ 諸事業の取り組みにあたっては、特に入口となる学生募集力強化と出口である就職力をあげるために、その基となる教育の質と研究力の向上、及び学生生活の充実等の強化に繋がるように十分配慮し策定すること。
- ④ 令和2(2020)年度事業計画(予算)は、教育・研究関連事業への重点配分を原則とするが、事業内容については、PDCAサイクルを踏まえ、徹底した見直しを図り、新規及び継続事業の区別無く総合的に比較検討し策定すること。
- ⑤ 事務局各部長は、所属各課の平成30年度の決算結果及び令和元年9月までの事業評価を総括し、令和2(2020)年度事業計画(予算)策定にあたっては、部単位を基本とし、次のとおりとする。
 - (1) 新規事業については、重点施策に基づく事業を優先し、別途事務局長に申請すること。
 - (2) 継続事業(経常的支出)については、令和元年10月からの消費税増税分を含めて、原則として令和元年度当初予算額のゼロシーリングとする。

なお、これまでの事業内容を再度見直し、費用対効果を検証し、極力抑制に努めること。

(2) 重点施策事項

2015年4月のキャンパス再編成後の将来構想を策定するため、「拓殖大学教育ルネサンス2020推進本部」を設置し、教学改革・改善に取り組んできましたが、新たに「拓殖大学2030教学経営会議(仮称)」を立ち上げ、20

30年を目途に教学・人事・施設・財務等の中期的な事業計画を策定すること。

なお、経営部門においては「中期財政計画策定本部会議」を中心に関連部会にて検討を加え、教学部門との情報を共有し、連携・強化を図っていくこと。

また、「2020 TAKUSHOKU NEW ORANGE PROJECT」については、これまでの活動実績を踏まえ新たな体制で取り組んでいくこと。

令和2(2020)年度は以下の事項を重点施策とする。

①中期財政計画の策定

18歳人口の更なる減少を踏まえた、令和2(2020)年度以降の収入予測の策定と4か年ごとの財政見通しの確立と諸施策の検討

②八王子国際キャンパスの活性化と施設の整備充実

- (1) 八王子国際キャンパスにおける3学部(外国語学部・工学部・国際学部)の教育連携と施設(整備計画を含む)の充実並びに令和2(2020)年度開設の外国語学部国際日本語学科開設や外国語学部英米語学科および国際学部国際学科定員増の対応を確実に行う。
- (2) 工学部の産学連携による活性化
- (3) 近隣高等学校との高大接続・連携の促進
- (4) 体育学生の教育支援と強化を引き続き行うとともに体育部については、総合的観点からその健全かつ効率的運用を図る。
- (5) 地域連携センターを中心に各地域・関係機関との連携を図る。

③文京キャンパスの施設設備維持管理計画策定と実施

④大学に学ぶ志の高い学生の確保の観点から、入試広報、大学広報を積極的に展開する。

⑤グローバル人材育成強化(外国人留学生関連も含む。)の各業務の充実強化と新たな施策を展開する。

⑥就職に強い大学を目指し、従来の業務強化に加え、初年次からのキャリア形成教育、企業開拓等の強化充実を図る。

⑦課外活動における学生の自主的諸活動の支援を図り、本学学生の規律と連帯感ならびに進取の気概を醸成する。

⑧手厚く充実した学生教育を展開し、留年者や途中退学者の減少を図る。

⑨公益財団法人「大学基準協会」の認証評価の結果を踏まえ、教学改革並びに中期事業計画の策定に取り組むとともに、引続き第三期認証評価(令和3年4月提出)に向けて作業に取り組む。

⑩北海道短期大学については、更なる教育の充実及び学生募集力の向上を図り、大学及び地域との連携を一層強化する。
この目的を達成するために、学校法人拓殖大学中期事業計画の一環として、同短期大学の将来を構想する具体的な検討を行う。

⑪第一高等学校については、更なる教育の充実を図るとともに生徒募集力を高める。また、高大連携を進めるためにも従来以上に法人との連携を深め、その向上発展を図る。

◆令和2年度事業概要

令和2年度の主な事業は、以下のとおりとなっています。

1. 拓殖大学教育ルネサンス2020

◎八王子国際キャンパス整備事業

- ①A館 教室内装補修工事
- ②A館 4階多目的トイレ工事
- ③D館 内装補修工事
- ④第一体育館 外階段外壁修繕工事
- ⑤第一体育館 第一トレーニングルーム床補強工事、第二トレーニングルーム機器更新
- ⑥第二体育館 プール塗装工事
- ⑦麗澤会館 照明器具交換工事
- ⑧麗澤会館 屋上防水補修工事
- ⑨学生交流会館 部室棟階段鉄部塗装工事
- ⑩サッカー場 人工芝張替工事
- ⑪恩賜記念館 屋上防水補修工事

◎教育ルネサンスプロジェクト

- ①「英語力の強化・向上」、「実践的な職業教育の充実」、「ゼミナール教育の充実と強化」
- ②学部運営経費

◎2020 TAKUSHOKU NEW ORANGE PROJECT

- ①グローバル人材育成のための国際交流や海外研修、留学生教育の推進強化
(国際交流サロン「オレンジサロン」の充実、国際交流体験 他)
- ②学生生活充実のための支援活動
(災害ボランティア活動、サービス介助基礎検定研修会の実施 他)
- ③就職活動やキャリア教育に関するサポート活動
(「社会人基礎力」の育成を意識したイベントの開催 他)
- ④スポーツ振興の推進～東京オリンピック・パラリンピックに向けて～
(スポーツオープンキャンパスの実施)
- ⑤女子学生満足度向上のための諸活動
(OMOTENASHI T-girls シーズンイベントの開催、拓大産の野菜を使った料理教室 他)
- ⑥地域連携・防災推進～文京キャンパス～
(防災体験教室・防災ワークショップの開催 他)
- ⑦地域連携・防災推進～八王子国際キャンパス～
(子ども食堂・地域食堂との連携活動、小中学生対象の理科教室 他)
- ⑧7グループ共通経費
(広報セミナー、拓殖人材育成広報会議 他)

◎その他

- ①大学基準協会第3期認証評価経費
- ②収容定員増等準備調査経費
- ③地方創生支援事業(地方と東京圏の大学生対流促進事業)
- ④文京C館 マルチメディア設備更新
- ⑤八王子A館PC教室1・2、PC自習室1～3、麗澤会館PC教室3・4 授業用ノートPC更新
- ⑥八王子工学部棟 CAE室 PC等更新
- ⑦八王子工学部棟 エレクトロニクス実験室I PC・AV機器等更新
- ⑧八王子工学部棟 演習室I・II 学生用デスクチェア更新、天井等塗装、床張替工事

2. 学生支援関連

- ①国際学部海外留学プログラムベトナム研修新設
- ②公務員就職希望者支援（専門相談員の配置等）
- ③図書館システム更新
- ④文京留学生寮 受変電設備改修工事
- ⑤八王子留学生寮 妻帯者用居室他修繕工事
- ⑥北海道研修所 自動火災報知設備改修工事
- ⑦北海道研修所 トラクター更新

3. その他の施設・設備関連

- ①文京設備維持管理（入退室管理装置、空調設備用自動制御機器 他）
- ②文京G館 空調設備更新工事
- ③文京F館 PC教室設置
- ④文京F館 301教室AV設備更新
- ⑤文京・八王子認証ネットワーク機器更新
- ⑥教研用・事務用メールサーバ更新
- ⑦教研用・事務用プロキシサーバ更新
- ⑧八王子中央監視システム更新工事

4. 設置校・その他

◎拓殖大学

- ①学部別入試情報ページ制作
- ②創立120周年記念行事
- ③東呉大学（台湾）との共催による120周年記念中国語スピーチコンテスト開催
- ④新就業システム導入
- ⑤ペーパーレス会議システム導入
- ⑥中長期広報に係るブランディング調査

◎北海道短期大学

- ①PC自習室・演習室PC更新
- ②農場大型ビニールハウス更新
- ③インキュベーター（恒温器）更新
- ④学内ネットワーク中継器更新

◎第一高等学校

- ①体育館 鉄扉・電動ブラインド補修工事
- ②ホームページリニューアル
- ③進路指導用書籍購入及び面接対策・添削サービス導入
- ④学校リスクマネジメント機構の加入
- ⑤経理システム改修及びサーバ更新
- ⑥受変電設備 キュービクル修繕工事
- ⑦受水槽防食保護塗装工事